

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●羽月友彦調教師がJRA通算200勝を達成

7月25日(土)の1回札幌1日・第4レースではエンペラーズパレスが1着となり、同馬を管理する羽月友彦調教師(栗東)は、現役108人目となるJRA通算200勝(延べ3067頭目)を達成しました。

●重賞ウィナー3頭の競走馬登録抹消

2019年産経賞オールカマー(GⅡ)などの勝ち馬スティッフエリオ(牡6歳/栗東・音無秀孝厩舎/JRA通算29戦8勝)、2015年京王杯2歳S(GⅡ)の勝ち馬ボールライトニング(牡7歳/栗東・宮本博厩舎/JRA通算28戦3勝)、2017年根岸S(GⅢ)の勝ち馬カフジテイク(牡8歳/栗東・湯窪幸雄厩舎/JRA通算33戦7勝・地方1戦0勝・海外1戦0勝)は、7月29日(水)までに競走馬登録を抹消されました。スティッフエリオは北海道千歳市の社台ファーム、ボールライトニングはJRA馬事公苑でそれぞれ乗馬となり、カフジテイクは地方・大井競馬に移籍する予定です。

●セレクトセール2020開催

7月13日(月)と14日(火)の2日間、北海道苫小牧市のノーザンホースパークにおいて「セレクトセール2020」(主催・一般社団法人日本競走馬協会)が開催されました。初日の1歳馬セッションは上場249頭(牡152頭・牝97頭)、落札229頭(牡138頭・牝91頭/落札率92.0%)、落札総額は104億2800万円(1頭平均は4553万7118円)。最高額はシーヴの2019(牡/父ディーブインパクト/姉はケンタッキーオークス馬のキャスリンソフィア)の5億1000万円で、これは国内1歳セリにおける最高価格となります。2日目の当歳馬セッションは上場226頭(牡142頭・牝84頭)、落札203頭(牡131頭・牝72頭/落札率89.8%)で、落札総額は83億3300万円(1頭平均は4104万9261円)。最高額はヒルダズパッションの2020(牡/父ハーツクライ/母は米G1勝ち馬、兄も米G1勝ち馬のヨシダ、姉はシンザン記念勝ち馬のサンクチュール)で3億8000万円でした(金額はすべて税別)。

●中村均元調教師と武豊騎手がスポーツ功労者顕彰を受賞

7月27日(月)、文部科学省とスポーツ庁による『スポーツ功労者文部科学大臣顕彰』の顕彰式が行われ、中村均元調教師と武豊騎手が「スポーツ功労者」として顕彰されました。これはプロスポーツ史上特に優れた成果をあげた者や、長年にわたってスポーツの向上発展に貢献し、わが国のスポーツの振興に関して特に功績顕著な人物を顕彰する制度で、武豊騎手は現役ジョッキーとして初めての選出となります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ブライフラッグがBGジュニアC制覇【各地の主要2歳重賞】

ブリーダーズゴールドジュニアC(7月28日、門別、1700^米)は、1コーナーで先頭を奪った1番人気のブライフラッグ(牡、父ヴィクトワールピサ)が後続をアタマ差封じ、重賞初制覇を果たしました。

●王冠賞はJRA出身のコパノリッチマン【各地の主要3歳重賞】

王冠賞(7月23日、門別、1800^米)は、中団から4コーナー手前で抜け出した3番人気のコパノリッチマン(牡、父ヘニーヒューズ)が、単勝1.5倍で断然人気の北海優駿の覇者アベニンドリムの追撃を $\frac{3}{4}$ 馬身差で凌ぎました。ハヤテスプリント(7月26日、盛岡、1200^米)は、5番手から差を詰めた重賞2勝馬エイシンハルニレ(牡、父エイシンアポロン)が直線半ばで差し切り、単勝1.8倍の支持に応えています。やまびこ賞(7月28日、盛岡、1800^米)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立った1番人気のピアノマン(牡、父ベルシャザール)が後続を4馬身引き離し、船橋から転入後初勝利が重賞制覇となりました。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1「キングジョージ」～エネイブルが史上初の3勝目

7月25日にイギリスのアスコット競馬場で行われたG1キングジョージVI世&クイーンエリザベスS(3歳上、芝2390^米)はL.デットーリ騎手を背にしたエネイブル(牡6歳、父ナサニエル、J.ゴズデン厩舎)が3頭立ての2番手追走から直線で一気に抜け出して5馬身半差で優勝。史上初となる「キングジョージ」3勝目をあげました(2017、2019、2020年)。2着が昨年のG1愛ダービー馬ソヴリン、3着は昨年のG1インターナショナルSの勝ち馬ジャパんで、この2頭はともにA.オブライエン厩舎の所属馬です。エネイブルは昨年のG1凱旋門賞で2着に敗れて連勝が12でストップ。今季初戦となった前走7月5日のG1エクリプスSも2着でしたが、ひと叩きされて巻き返しました。

●G2サンディエゴH～マキシムセキュリティが復帰戦に勝利

米国カリフォルニア州のデルマー競馬場で7月25日に行われた、G2サンディエゴH(3歳上、ダート1700^米)は2月29日のサウジC優勝以来の休み明けで、J.サーヴィス厩舎からB.パファート厩舎に転厩しての初戦となったマキシムセキュリティ(牡4歳、父ニューイヤーズデイ)がミッドコートとの競り合いをハナ差で制して優勝しました。